



## アデン湾海賊現場報告

### アデン湾における各国の取組み

1. アデン湾の現状
2. 各国の取組み
3. 日本郵船における対応の現状
4. 日本国政府に期待すること

## 1. アデン湾の現状

### アデン湾の現状

日本郵船本社には、アデン湾を通航する全船から、無線で傍受した海賊情報等が、毎日報告されてくる。

↓

付近航行中の各船へフィードバック

これら”生の現場報告”の一例を紹介する

### 無線傍受内容【例】

**【例1】 10月29日 03:20UTC 襲撃を受けている貨物船の無線内容**  
*“Warship, warship ! This is cargo ship. 2 small boats attack from our port side. Come in please!” .....“This is warship. Give me your position!”*  
**こちら貨物船！2隻のボートに襲撃されています！応答願います！**  
**こちら〇〇軍艦。貴船の位置を教えてください！**

**【例2】 12月14日 11:40UTC 艦船⇒襲撃されている貨物船の無線内容**  
*(艦船)貨物船！船速を上げろ！落下傘付き信号を使用しろ！*

**【例3】 1月28日 03:36UTC ハイジャック船”LONGCHAMP”からの無線内容**  
*“All ship all ship, this is hijacked vessel, please do not come close to us, pirates on board, I am hostage, pirates pull a gun on to my head, and they will start to kill crew one by one if somebody come close to us.”*  
**付近航行船、本船に近づくな！本船海賊にハイジャックされた！**  
**私は今、頭に銃を突きつけられている！近づいたら一人づつ殺すと いわれている！**

### アデン湾航行隻数

アデン湾の年間航行総隻数：**約20,000隻**

うち日本関係係：**約2,000隻**

コンテナ船	自動車船	バルカー	タンカー	LNG船	LPG船	ケミカル・ブロケットタンカー	雑貨船	その他	計
707	849	172	52	105	28	154	25	11	2,103

(2008年統計 日本船主協会まとめ)



ハイジャックされた“日本関係船”

発生日	船種	乗組員国籍	総トン数
2007/10/28	ケミカル・タンカー	韓国 フィリピン ミャンマー	6,253GRT
2008/07/20	バルカー	フィリピン	30,046GRT
2008/08/21	ケミカル・タンカー	ロシア クロアチア フィリピン	7,373GRT
2008/09/15	ケミカル・タンカー	インド フィリピン ロシア 他	15,732GRT
2008/10/15	バルカー	フィリピン	32,379GRT
2008/11/15	ケミカル・タンカー	韓国 フィリピン	11,951GRT

日本郵船グループの被害

4/21 VLCC”高山”被弾

8/23 雑貨船”AIZU”被弾

日本郵船グループの被害

3/10 バルカー”MAR REINA”被弾

AIZU襲撃位置

TAKAYAMA襲撃位置

MAR REINA襲撃位置

2. 各国の取組み

NYK LOGISTICS & MEGACARRIER

### 国際社会の反応

#### ◆ソマリア沖海賊対策に関する国連安保理決議

1816 :2008年6月2日。加盟国の海賊行為阻止(含む武力行使)を認める  
 1838 :2008年10月7日。加盟国に海賊鎮圧行動を要請  
 1846 :2008年12月2日。1816を12ヶ月延長。  
 1851 :2008年12月16日。ソマリア領土内への緊急越境追跡を認める

#### ◆EU NAVFOR (Operation ATALANTA)

2008年12月8日から1年間、WFP(世界食糧計画)契約船舶等の護衛および商船の保護を目的にEU軍として活動を開始

#### ◆有志連合軍 CTF151の設立

CTF150の目的があくまでテロとの闘いであるのに対し、2009年1月1日、米国の中心になり海賊対策専従の部隊であるCTF151を設立。活動開始。

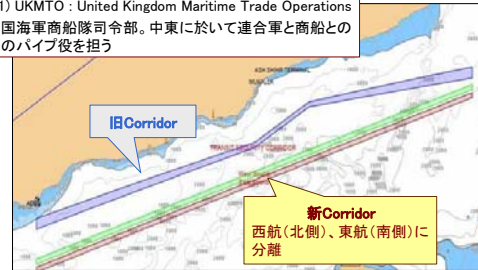
CTF150として派兵	米、英、仏、独 他
EU軍として派兵	英、仏、独、西、ギリシャ 他 (賭、瑞も派兵予定)
独自に派兵	露、中、印、馬、イラン 他 (韓も艦船が出港)

### 安全航行回廊(IRTC)の変更

#### IRTC : Internationally Recommended Transit Corridor

UKMTO(\*1)、EU NAVFOR、有志連合軍等の関係機関により設定された推奨航路。イエメン漁船の操業区域を避け、かつ整流のため2月1日より新ルートに変更。

(\*1) UKMTO : United Kingdom Maritime Trade Operations  
 英国海軍商船隊司令部。中東に於いて連合軍と商船との間のパイプ役を担う



### 船団航行方式(Group Transit)

商船の効率的な保護のため、EU NAVFORはアデン湾航行船に船速に応じた船団を組み IRTC を航行すること(Group Transit)を推奨している。船団に艦船は随行しないが、集中的に監視される。

船速	出発時間(世界時)	
	東航	西航
10	0100	1500
12	0530	2100
14	0830	0100
16	1100	0530
18	1300	0700

### 3. 日本郵船における対応の現状

### 現地に展開する軍関係者との情報交換



4月21日 ドバイにてUKMTOおよび有志連合軍関係者と面談  
 11月19日 ドバイにて再度UKMTOを訪問、更にバーレーンでは有志連合軍本部にて英・米・加軍司令官と面談

### アデン湾における航行安全セミナー開催



昨年9月17日、英国大使館の全面的なバックアップの下、UKMTO司令官を招聘。日本船主協会を通じ可能な限り多くの海事関係者および外務省、国交省(含海上保安庁)に案内の上、セミナー開催。セミナーには駐日英国大使館駐在武官 デリック大佐にも来席頂く栄を得た。

### 各国軍による護衛コンボイの概要

軍	スケジュール・申請方法等	優先順位
露	スケジュールは非公表。運輸省で海事保安を統括する部署へ申請、同署より海軍に照会し、直近のスケジュールのみが通知される。 (一時中断中)	1. 戦略物資輸送船 2. 露籍船 3. 露企業関係船 4. その他
印	海事局から印船協各社へ2週間程度の長期スケジュールが公表される。	1. 印籍船 2. 印船員乗組船 3. 印関係貨輸送船 4. その他
中	スケジュールは非公表。中船協経由で海軍に申請。	1. 中国籍船 2. 香港・マカオ・台湾籍船 3. 中国船社運航船
EU	原則として実施しないが、EU関係船でハイリスク船がある場合に編成している模様。直前にEU NAVFOR Websiteにて公表される。	

### NYK関係船の艦船エスコート実績

日時	艦船隻数 被護衛船(民間)隻数	船種(全長) 総トン数	船籍 (乗組員)	用船形態
2008/10/30 仏軍	軍艦1隻 民間2隻	貨物船(150m) 13,694 G/T	パナマ (日・比)	実質船主 NYK関係会社
2009/01/12 中国軍	軍艦2隻(1隻は途中合流) 民間4隻	バルカー(199m) 29,381 G/T	香港 (比)	実質船主 NYK関係会社
2009/01/16 EU軍	軍艦1隻(独・仏艦が途中交代) 民間12隻	バルカー(289m) 91,165 G/T	パナマ (台・中他)	備船
2009/02/25 EU軍	軍艦1隻(ギリシャ艦) 民間10隻	ケミタン(175m) 20,043 G/T	パナマ (クロ・比)	実質船主 日本郵船
2009/02/28 インド軍	軍艦1隻 民間隻数不明	バルカー(190m) 30,064 G/T	パナマ (ル・マニア)	備船
2009/03/19 インド軍	軍艦1隻 民間4隻	貨物船(150m) 13,694 G/T	パナマ (日・比)	実質船主 NYK関係会社

### 仏軍コンボイ(現在は廃止)への参加

昨年10月31日、弊社グループ会社所有の低速・低乾舷貨物船がアデン湾通航に際し、**仏軍**が発表していた軍艦の伴走および兵士による乗船警護(Close Protection)を申請。

兵士の乗船には**仏政府と本船旗国政府との間の合意が必要となることから、パナマ本国および同国在日大使に協力を依頼**。しかし正式合意が間に合わず乗船警護は拒否されたが、コンボイへの合流は許可された。

### EU軍コンボイへの参加

本年2月25日、弊社運航の低速・低乾舷ケミカルタンカーが、**EU軍(ギリシャ軍)**艦船の伴走によりアデン湾を通航した。

護衛申請は、EU NAVFOR Website 経由の船舶データ登録とEメールで実施。

## 4. 日本国政府に期待すること

## 自衛艦の護衛対象の拡大を強く希望する

**日本船社運航船でも、現行法下護衛対象とならない船舶がある**

日本籍等の日本関係船を優先するベースで、全ての船舶が護衛対象となることを望む。

【各国の状況】  
EUや他国軍が提供している護衛も、優先カテゴリーが設定されており、当然ながら自国関係船が優先されている。  
一方、無関係の船舶も護衛対象としている。

